



週間の動き

.....
九分通り有機水銀中毒

二十八日らしい「奇病」と呼ばれて全国的な注視を集めている水俣病のナンもようやく解

くまもと

かかってきた。熊本医科大学の特別研究班(班長、世良医学部長)は二十二日関係者を招いて中間発表を行なったが、こ

れで「有機水銀の中毒による神経系の疾患」といふことが九分どおり確定したようだ。湾内の泥土や魚介類から水銀を抽出したものである。

また厚生省の諮問機関である水俣食中毒部会委員の後藤源太郎教授(熊本理学部)も「海底の泥土に無機水銀が含まれ、これを吸収したエビやゴカイを魚が食い、この過程で無機水銀が有毒な有機水銀に変っていく」と発表。なお潮流の早い海岸と湾

内とは工場廃液の放出後の状況も異なっているとしている。このほか、県と地元漁協が工場排水口付近で実験した結果、魚が六分間で死ぬことがわかったはず。(県議会特別委で)など問題も大詰めに近づいたようだ。それにしても二十四日には入院中の六才の少年が死んだ。二十八人目の痛ましい病魔の犠牲者である。